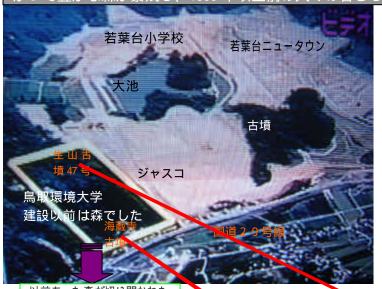
1 鳥取環境大学キャンパスでは; あなたが立っている鳥取環境大学のキャンパスはかつて豊かな森が繁茂し、1500年以上前の人々の暮らしの徴(しるし)を物語る古墳がありました。





以前あった森が切り開かれた

鳥取環境大学の敷地にあった7世紀頃の古墳。 「万徳」とへら書きされた須恵器も出土してし

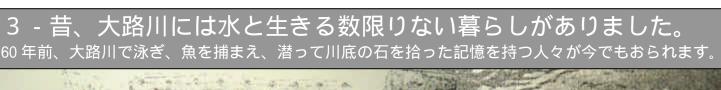
鳥取環境大学の建設で失われた緑や水辺、生物を回復することが、「環境」という名の大学で学び働くものの責務です。それは、地球の生命維持装置としての地球圏 生物圏の回復への一歩です。地球の庭づくりの精神です

「万徳」とへら書きされた須恵器も出土している 物を回復する ものの責務で 球圏 生物圏 です 3000 谷に及ぶ津ノ井新都市が建設された千代川上流・洞ノ川では、鳥取が日本に誇る音楽家・岡野貞一が歌った「春の小川」のような、子どもたちが近寄れる水辺の情景は、今、全く見ることができません。開発によって多くの森や田畑が失われました。森の面積は流域の半分以下になっています。

千代川支流の大路川流域の実に、1/4 以上が宅 地化されたのです。

2 知っていますか?上流の開発で、大路川中・下流で洪水の危機が高まっています







12.00 ホタル護岸

観察路 ·橋

5;地球の庭;雨水利用して、風と太陽光とバイオマス(天ぷら廃食油) の力だけで流れや滝をつくり、生き物が棲む自然を呼び戻します。



木材研究棟

右上;流れと滝、間伐材ドーム 右中;湧き水で遊ぶ子供たち

第9のシステム; コミュニテイ再生 出会い・交流

右下:掃除

7;地球の庭は、多様な生物の生息を可能にする生態系を回復し、 <u>人々に楽しい、</u>語らいと安らぎの場「モネの庭」を提供します。

モネの庭づくりは

鳥取環境大学のプロジェクトキャンパス内ピオトープを対して、対象に、地球環境時代を背景になりた自然再生・野生回復や地球温暖化防止を目指す持続可能な21世紀の楽園づくり風力や太陽光、廃棄物から生み出された電力と降雨の水だけで、自然再生・野生回指をし、食の循環と自律を目指す市民農園、人々に憩いや散策の場や市民花壇を提供するプロジェクトです。

第11のシステム;

生物多様性の庭 モネの庭 開発されて自然が失われた場所を、多様な生物 が生息できる環境に転 換します。憩い、語らい、 出会いの場を提供しま

す。



第12のシステム;自然再生の学習観察

失われた自然。いったん破壊された生態系の復元に、どれだけのエネルギーと時間 と労力が必要かを、フィールドとして学べ、体験できる機会と場を提供します。

8 ; グリーンコミュニティ(バイオマスタウン)へ 地球の庭プロジェクト研究会が目指すもの 21 世紀中に、多くの地下資源が枯渇します。再生可能資源による地域内循環型社会をどうつくるのかが、問われています。



Copyright: M. Yoshimura 無断転写を禁じます